

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 (住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417 (その他のご照会) ☎ 0120-176-417 (インターネットホームページURL) http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所	住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 電子公告アドレス： http://www.veriserve.co.jp/e pn/
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ
証券・銘柄コード	3724

株式会社 ベリサーブ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号 西新宿三井ビル14F
TEL 03-5909-5700 (代表)

※Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
※その他の社名、製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
※その他の登録商標及び商標の所有権は、それぞれの所有者に帰属します。



第5期 事業報告書

2005年4月1日～2006年3月31日

株式会社 ベリサーブ

Web site information



ホームページのご案内

当社のホームページで事業内容、ニュースリリース、IR情報等の様々な情報をタイムリーにご確認いただけます。是非ご覧ください。

<http://www.veriserve.co.jp/>

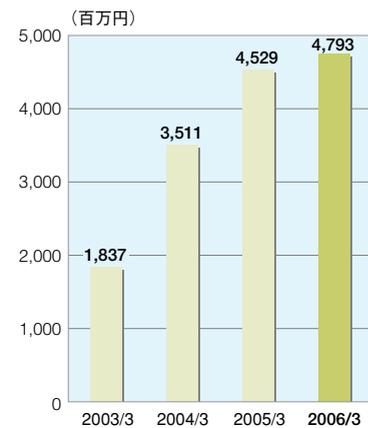


当社IRサイトは、大和インベスター・リレーションズ株式会社の選ぶ2006年度 インターネットIR優秀企業賞の1社に選ばれました。

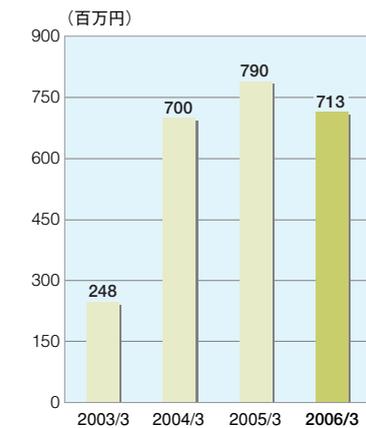


verification service

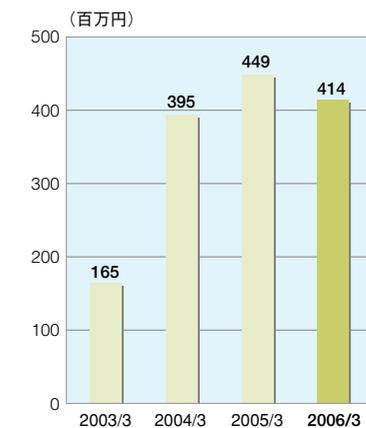
売上高



経常利益



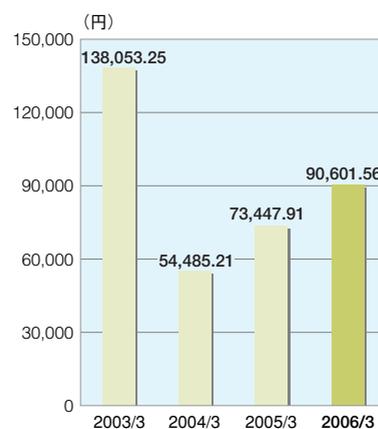
当期純利益



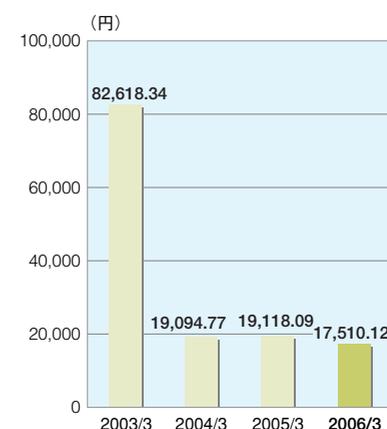
株主資本



1株当たり株主資本



1株当たり当期純利益



代表取締役社長
浅井 清孝

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに第5期事業報告書をお届けするにあたりご挨拶を申し上げます。

当期は、大手特定IT企業からの売上高が半減する厳しい環境ではございましたが、新規顧客の開拓ならびに既存顧客の拡大を進め、売上高は47億93百万円と増収となりました。ITS関連分野、携帯電話分野のお客様との取引が拡大し、そのニーズに対応するため検証技術者の採用・育成をすすめましたが、反面マネージメント費用が増加したことや検証技術者が100名あまりに達し今後の事業拡大などを考慮し、手狭になった本社を移転する等の先行的な投資を行なった結果、営業利益9.3%減の710百万円、経常利益は9.7%減の713百万円、当期純利益は7.8%減の414百万円となりました。

設立当初は、パソコンやその周辺機器が検証業務の中心でございました。その後デジタル家電関連の製品検証業務に注力し、その中の一社との取引が拡大し業績を伸ばすことができました。反面、売上高が一社に偏重しているという側面もありましたが、当期はITS関連分野、携帯電話分野などのお客様を開拓することで売上構成の偏重も是正されたと考えております。様々な分野のお客様との取引の基盤が出来た期でもあり、当社は新たな成長ステージに入ったと考えております。これを節目として、このほど、1株当たり1,500円の期末配当を実施させていただきます。株主の皆様への利益還元は重要な経営課題であると捉えており、今後も当社の成長の段階に応じ、株主還元策を実施していく考えでございます。

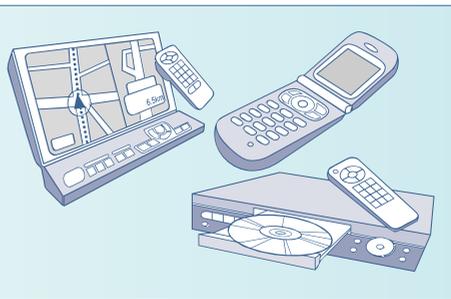
当社のお客様は国内IT機器メーカーが多く、このようなお客様では新製品を開発する際にソフトウェアにかける費用の比重が増大しております。デジタル化の進展するマーケットの中で製品開発の「スピード向上」と「コスト削減」は、お客様における差し迫った課題となっております。

このような課題に当社は、お客様の製品開発におけるトータルコストを抑制しながら、高品質な製品が供給される体制の実現を支援していく総合的なサービスを提供し、事業を拡大してまいります。

当社はこの7月に創立6年目を迎えます。これもひとえに株主の皆様をはじめ、お客様、お取引先様のご支援の賜であり心から感謝申し上げます。株主の皆様におかれましては、新たな成長ステージに入りました当社への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

私たちの仕事はシステム検証サービスです。

ベリサーブのホームページや会社案内には、事業内容にシステム検証サービスと記載されていますが、システム検証サービスって、どんなサービスなのだろうか？と思われる方も多いと思います。そこで、今回はベリサーブのやっている業務・サービスを株主の皆様に出るだけわかりやすくご説明させていただきます。



Q1 なにをしている会社なのですか？

コンピュータはもちろん、携帯電話やカーナビゲーション・システムなどの最新ハイテク機器や自動車などには、様々な電子部品とそれらを動かすための仕組み（ソフトウェア）が組み込まれています。メーカーでは、製品を発売する前に、製品に組み込まれているソフトウェアがきちんと働いて、暮らしに役立つようにつくられているのかをテストしています。高度な機能を提供する機器では仕組みも複雑になるため、メー



カーでは、自社内におけるテストの他にも、その精度をさらに高めるための、第三者を活用したテストに対するニーズが生まれてきます。ベリサーブでは、お客様であるメーカーの依頼を受けてテストを行い、製品の信頼性を高めるためのお手伝いをしています。こうしたテストを行う仕事を、ベリサーブではシステム検証サービスと呼んでいます。

Q2 テストって、どんな仕事なのですか？

一般の方がテストと聞くと、入学試験などが思い浮かびますが、こうしたテストは合否を判定したり、成績を評価したりするためのテストです。しかし、ベリサーブで行っているテストは、間違いがないかを確認、成績を上げるために行われる実力診断テストのようなものです。

このテストでは、最初の設計通りに製品が仕上がっているか、きちんと動くか、性能が十分に発揮されているかなど、あらゆる角度から製品の完成度について確認が行われます。このため、ベリサーブでは、製品の特徴や性質、これまでの経験で得た知識をもとに、

独自のテスト問題をつくり、製品の評価・テストを行います。テストの結果に基づいて、必要に応じ、どこに問題があったか、どういう条件で問題が発生したか、期待していた性能を発揮できたかなど、実力をアップさせるためのレポートをメーカーにお出しして、より完成度の高い製品になるためのお手伝いをしています。



Q3 どんなテストをしているのですか？

用意する問題は、電源のボタンを押したらきちんと電源が入るかといった素直な問題ばかりではありません。例えば、いくつかのボタンを一緒に押しても問題が起きないかといった、いじわるな問題やひっかけ問題も用意しています。

ベリサーブがお客様であるメーカーから評価されている理由の1つは、この問題づくりにあります。製品化までの限られた時間の中で、必要なテストを行うための問題づくりに、当社の前身から20年以上にわたってテストを行ってきた経験やノウハウが活かされているのです。



Q4 これからは、どんな仕事を考えていますか？

これまでベリサーブでは、できあがった製品（試作品）についてのテストを中心に行っていました。これからは、これまでの経験とノウハウを活かして、製品の設計段階から、お客様と一緒に、開発段階で実力をアップさせるために必要な情報やアドバイスを提供したりすることで、より良い製品づくりのお役に立ちたいと考えています。最近では、ミスが発生するメカニズムを探るため、大学の先生方とも研究を続けています。今後もベリサーブでは、より信頼性の高いテストを行うため、技術開発に力を入れていきたいと考えています。



当期の概況

当期におけるわが国経済は、企業の設備投資が堅調に推移し、個人消費もゆるやかに上昇をはじめ、3月には日銀による量的緩和政策の解除も行われ、景況感を引き続き回復基調で推移いたしました。

当社を取り巻く環境といたしましては、デジタル化の進展スピードは分野別にバラツキを生じるようになってきております。特に情報家電分野では、前期に引き続き各メーカーはIT製品の在庫調整により、製品開発計画の見直しを余儀なくされ、依然不透明な状況が続きました。

このような環境のもと当社のIT製品の組込ソフトウェアを検証する「システム検証」事業は、特定大手IT企業に対する売上高の減少により、全体としての成長率は鈍化したものの、当該企業以外の売上高は、前期に比べ6割強増加させることができました。これは多機能化するカーナビゲーション・システムのITS（高度道路交通システム）分野と世代交代を迎え新製品開発が活況となった携帯電話分野が大きく業績に貢献したことによるものです。

以上の結果、当期の売上高は、4,793,972千円（前期比5.9%増）となりました。また、本社移転に伴う什器備品の購入等による販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は710,778千円（同9.3%減）、経常利益は713,879千円（同9.7%減）となりました。

これらの結果、当期純利益は414,797千円（同7.8%減）となりました。

事業部門の概況

セキュリティ検証サービス

セキュリティ検証サービスは、顧客の社内システム及びインターネット経由で公開するホームページ、あるいは電子商取引のインターネットシステム等に対し、スケーラビリティ・テストング・サービス（STS）として、負荷の許容量を調査するサービスであり、売上高は38,016千円（前期比11.9%増）となりました。

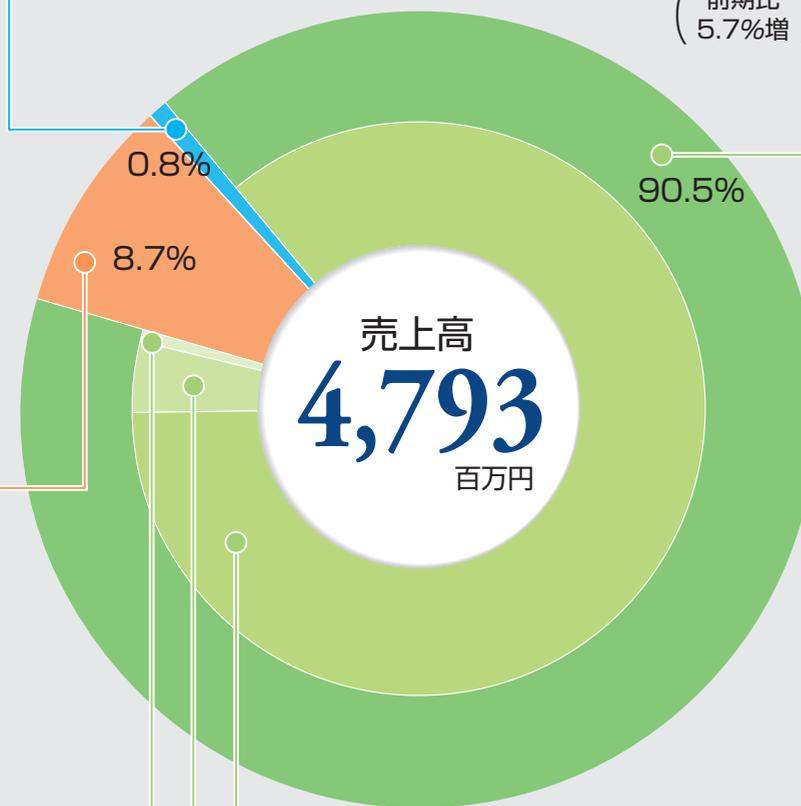
売上高 **38** 百万円（前期比 11.9%増）

その他のサービス

その他のサービスにつきましては、製品検証サービスやセキュリティ検証サービスに分類されない検証業務や顧客企業内でのシステムインフラの構築やシステム開発、社内システム保守・運用に関するサービスを提供しており、売上高は418,366千円（前期比6.8%増）となりました。

売上高 **418** 百万円（前期比 6.8%増）

売上高 **4,337** 百万円
（前期比 5.7%増）



開発支援検証サービス 4,111百万円（前期比 7.2%増）
 認定支援サービス 191百万円（ 〃 13.4%減）
 検証情報サービス 34百万円（ 〃 24.7%減）

製品検証サービス

当社の主力事業であります製品検証サービスのうち、開発支援検証サービスは総売上の85.8%を占めており、顧客である国内メーカーにおける開発中のデジタル製品及び組込ソフトウェアを、当該顧客の規模や製品の特性に応じて、個別に検証するサービスであります。当期はデジタル家電関連の売上高が減少したものの、カーナビゲーション・システムを中心としたITS分野並びに携帯電話分野に対する検証業務が増加しました。これらにより、売上高は4,111,340千円（前期比7.2%増）となりました。

また、認定支援サービスにつきましては、米国マイクロソフト社の承認を必要とするDesigned for Windows®ロゴ取得の支援サービスを主力としたサービスで、売上高は191,868千円（同13.4%減）となりました。

検証情報サービスは検証対象のデジタル製品・組込ソフトウェアを様々なパソコンやパソコン周辺機器等と組み合わせて使用した場合の動作確認情報の提供及び様々なメーカーのパソコン等と検証対象のデジタル製品との接続確認が可能なITプラットフォームテストセンターを時間単位で提供するサービスであり、売上高は34,380千円（同24.7%減）となりました。

以上の結果、製品検証サービスの売上高は4,337,590千円（同5.7%増）となりました。

貸借対照表 (要旨)

単位：千円

科目	当期 2006年3月31日現在	前期 2005年3月31日現在
資産の部		
① 流動資産	2,462,135	2,409,730
現金及び預金	780,059	1,670,997
グループ内預け金	800,277	-
売掛金	792,754	645,972
仕掛品	9,385	11,438
前払費用	19,905	6,865
繰延税金資産	59,442	74,314
その他	309	140
固定資産	258,844	105,325
有形固定資産	33,364	32,628
無形固定資産	58,281	40,882
投資その他の資産	167,198	31,813
資産合計	2,720,980	2,515,055

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	当期 2006年3月31日現在	前期 2005年3月31日現在
負債の部		
② 流動負債	542,072	753,644
買掛金	251,163	277,080
未払費用	64,611	78,802
未払法人税等	125,661	251,094
未払消費税等	9,484	28,087
預り金	9,183	5,417
賞与引当金	78,000	71,600
事業所移転損失引当金	-	37,400
その他	3,966	4,161
③ 固定負債	22,228	27,819
負債合計	564,300	781,464
資本の部		
資本金	368,382	364,236
資本剰余金	352,132	347,986
資本準備金	352,132	347,986
利益剰余金	1,436,164	1,021,367
当期末処分利益	1,436,164	1,021,367
資本合計	2,156,679	1,733,591
負債・資本合計	2,720,980	2,515,055

POINT ①

流動資産

前期末に比べて52,405千円増加し、対前期末比2.2%増の2,462,135千円となりました。これは、主に売掛金の増加によるものです。また現金及び預金の減少の主なものはグループ内預け金により資金を運用しているものです。

POINT ②

流動負債

前期末に比べて211,572千円減少し、対前期末比28.1%減の542,072千円となりました。これは、主に未払法人税等、事業所移転損失引当金の減少によるものです。

POINT ③

固定負債

前期末に比べて5,590千円減少し、対前期末比20.1%減の22,228千円となりました。これは、主に退職給付引当金が減少したことによるものです。

損益計算書 (要旨)

単位：千円

科目	当期 2006年4月1日~2006年3月31日	前期 2005年4月1日~2005年3月31日
④ 売上高	4,793,972	4,529,032
売上原価	3,266,221	3,035,325
売上総利益	1,527,751	1,493,706
販売費及び一般管理費	816,972	709,678
営業利益	710,778	784,028
営業外収益	3,643	6,792
営業外費用	542	325
経常利益	713,879	790,495
特別利益	-	32,038
特別損失	2,215	37,400
税引前当期純利益	711,664	785,134
法人税、住民税及び事業税	284,000	347,000
法人税等調整額	12,866	△ 11,599
当期純利益	414,797	449,733
前期繰越利益	1,021,367	571,633
当期末処分利益	1,436,164	1,021,367

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT ④

売上高

多機能化するカーナビゲーション・システムを中心としたITS関連分野や新製品開発が活発な携帯電話関連分野などの特定大手IT企業以外の売上高は、前期に比べ6割強増加させることができ、売上高は前期比5.9%増の4,793,972千円となりました。

POINT ⑤

投資活動によるキャッシュ・フロー

当期は固定資産の取得、本社移転に伴う敷金の支払により191,366千円の減少となりました。

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

単位：千円

科目	当期 2006年4月1日~2006年3月31日	前期 2005年4月1日~2005年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	92,958	393,573
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 191,366	△ 38,418
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,748	6,398
現金及び現金同等物の増減額 (△減少額)	△ 90,660	361,553
現金及び現金同等物の期首残高	1,670,997	1,309,444
現金及び現金同等物の期末残高	1,580,337	1,670,997

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

単位：千円

科目	当期 2006年4月1日~2006年3月31日	前期 2005年4月1日~2005年3月31日
当期末処分利益	1,436,164	1,021,367
利益処分額		
⑥ 利益配当金	35,706 (1株につき1,500円)	- (-)
次期繰越利益	1,400,458	1,021,367

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT ⑥

利益配当金

総額35,706千円の配当を実施いたします。当期は1株当たり1,500円の配当となります。

株式の概況 (2006年3月31日現在)

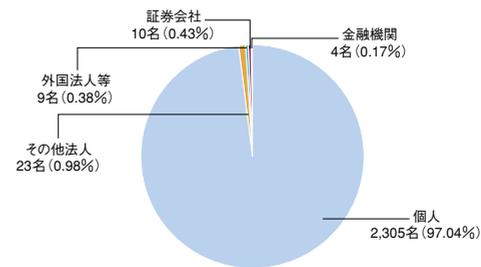
Stock Information

- 会社が発行する株式の総数64,000株
- 発行済株式総数23,804株
- 株主数2,351名

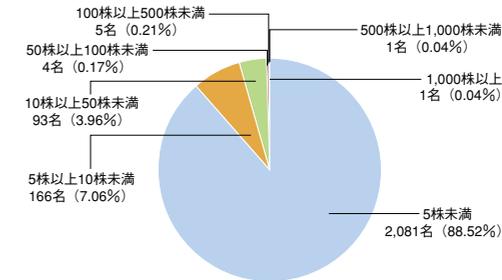
■大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社CSKホールディングス	15,200	63.85
ベリサーブ従業員持株会	810	3.40
ピーエスピーババ株式会社サービス・ソリューションズ	445	1.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	433	1.82
浅井清孝	400	1.68
日本証券金融株式会社	287	1.21
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505019	110	0.46
株式会社カワノ・トラスト	70	0.29
大阪証券金融株式会社(業務口)	59	0.25
大和証券株式会社	55	0.23

■所有者別株主分布状況



■所有数別株式分布状況



会社概要 (2006年3月31日現在)

Corporate Data

■商号 株式会社 ベリサーブ

VeriServe Corporation

■本社所在地 〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号
西新宿三井ビル14F

■設立 2001年7月24日

■資本金 368百万円

■従業員数 129名

■事業内容 製品検証サービス：
IT関連製品(ハードウェア、ソフトウェア)のシステム検証
セキュリティ検証サービス：
ネットワークシステムのセキュリティ分野での検証
その他サービス

■役員

代表取締役社長	浅井清孝
常務取締役	北谷利之
取締役	高橋豊
取締役	加治屋知和
取締役	有賀貞一
取締役	鈴木孝博
取締役	加藤一夫
監査役	前田徹
監査役	熊崎龍安

期末配当の実施について

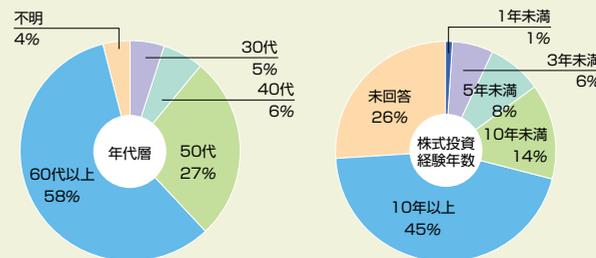
当社は、株主の皆様方に対する利益還元は重要な経営課題のひとつと認識しており、安定的な経営基盤の確保ならびに事業展開のための内部留保を勘案しながら、利益還元策を実施していくことを基本方針としておりますが、設立から間もないこともあり、今後の事業展開に備え、経営体質の強化を目的とした内部留保の充実を図るため、無配とさせていただいております。

当社では、今後も成長を継続させ企業価値を高めてまいります。中長期的視点で当社株式を保有しておられる株主の皆様への利益還元として業績に応じた配当をこの度、実施させていただくこととなりました。当期末の利益配当金につきましては、1株につき1,500円の配当とさせていただきます。

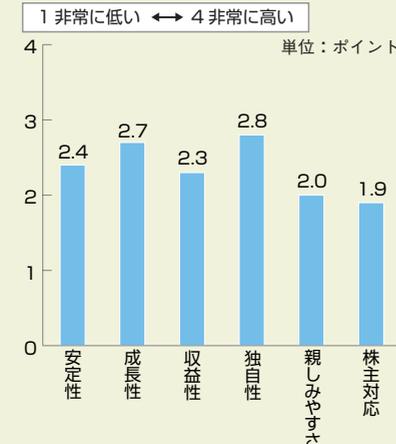
>>> 株主アンケートのご報告

当社では、第5期中間事業報告書においてアンケートをお願いしました。おかげさまで多数のご回答をいただき、深く感謝しております。アンケート結果要旨につきご報告いたします。

回答者のプロフィール



●当社に対するイメージ



●当社についてお知りになりたいこと (複数回答)



●事業報告書に興味を持った内容 (複数回答)

